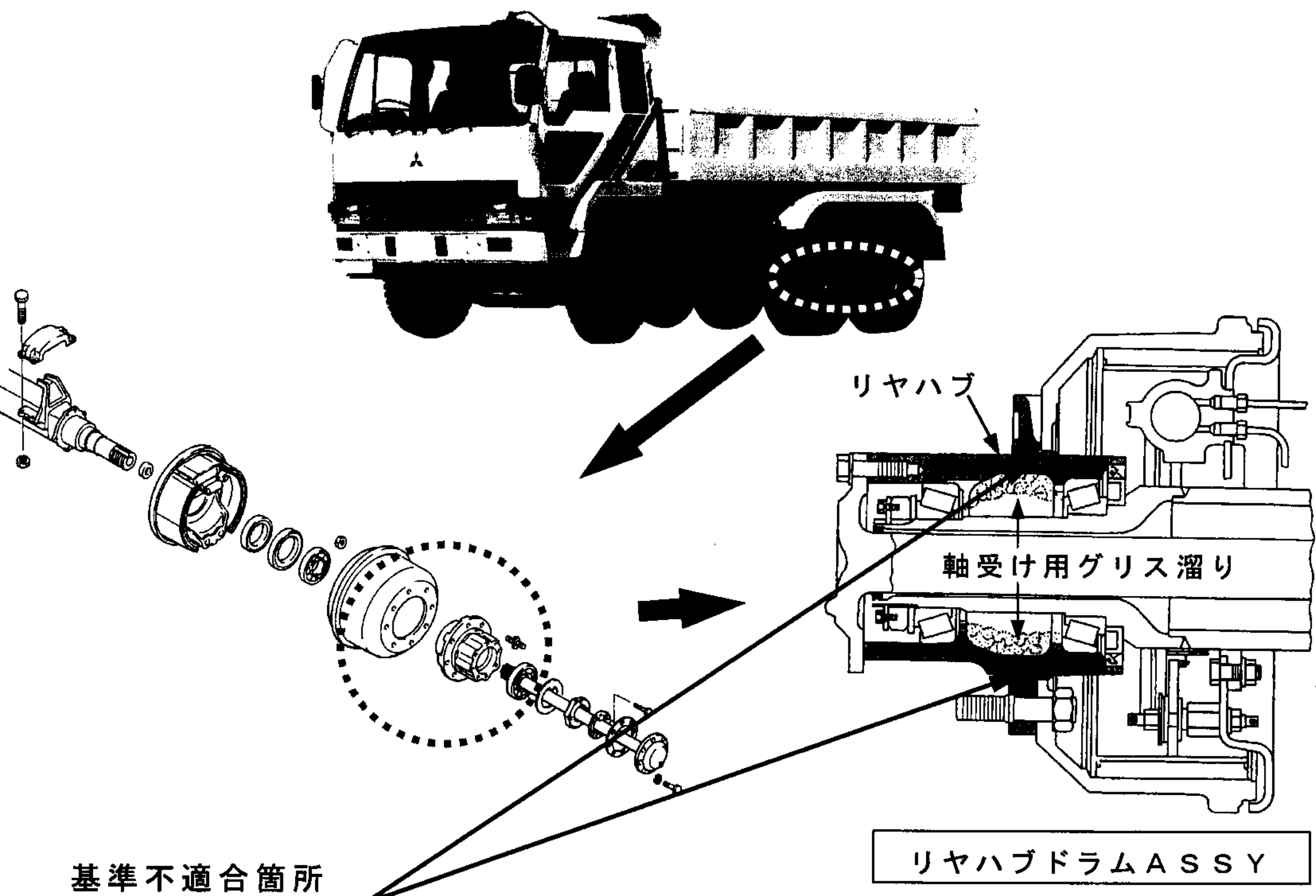


改善箇所説明図



リヤハブのフランジ付け根の肉厚が薄く強度が不足しているため、旋回頻度の高い走行を繰り返した場合などに、当該部分に亀裂が発生するものがある。またフランジ付け根付近の加工不良などの要因が重なると応力が集中し、この亀裂の発生が早まる可能性がある。このため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、当該部分が破断して走行不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、リヤハブを対策品と交換する。

なお、対策品の検証と全数供給に時間を要するため、暫定措置としてリヤハブの亀裂の有無を点検し、次の対応を行う。

①亀裂のあるハブは現行の最新型ハブに交換する。

②亀裂のない場合は、その旨を使用者に説明し、使用上の注意喚起を行う。

注：□は、交換部品を示す。

識別：作業完了後、点検終了車両（別途対策品への交換が必要な車両）は橙色のシール、対策品交換終了車両は緑色のシールを所定の位置*に貼付する。

*：トラックの場合：運転席ドアリヤピラー部のストライカ下部。

バスの場合：右後部点検蓋内右上隅。